

B型肝炎ワクチン(ビームゲン注)を受ける方へ



【このワクチンの効果は？】

B型肝炎の予防

B型肝炎ウイルス母子感染の予防(抗HBs人免疫グロブリンとの併用)

HBs抗原陽性でかつHBe抗原陽性の血液による汚染事故後のB型肝炎発症予防
(抗HBs人免疫グロブリンとの併用)

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - ・ 明らかに発熱(通常37.5℃以上)している人
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
 - ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分でアナフィラキシーをおこしたことがある人
 - ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人
- 疾患を持っている人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。

【このワクチンの接種スケジュールは？】

[B型肝炎の予防の場合]

◎10歳未満 1回0.25mL

3回接種します。

2回目：1回目の4週間後

3回目：1回目の20～24週後の間

皮下投与

◎10歳以上 1回0.5mL

3回接種します。

2回目：1回目の4週間後

3回目：1回目の20～24週後の間

皮下投与または筋肉内投与

- B型肝炎ウイルスへの曝露(ばくろ)による感染および発症の可能性が高い人またはB型肝炎ウイルスに感染すると重症化するおそれがある人は、このワクチンを3回接種した1～2か月後くらいに、抗体検査を受け、能動的HBs抗体*ができていない場合には、追加接種します。

* HBs抗体:HBs抗原に対する抗体です。

- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。

